

令和6(2024)年6月

軽自動車新車販売速報

令和6(2024)年7月1日

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：赤間俊一、略称：全軽自協）の調べによる令和6(2024)年6月の軽自動車新車販売台数(新車新規検査台数、トレーラー等を除くナンバーベース)は、全体で132,038台、前年同月比0.7%減となり、7か月連続のマイナスとなりました。

車種別では、乗用車が100,773台で前年同月比4.3%減(7か月連続減)、貨物車が31,265台で同13.1%増(13か月ぶり増)。貨物車の内訳は、ボンネットバンが3,247台で前年同月比0.1%増(2か月連続増)、キャブオーバーバンが16,145台で同8.6%増(9か月ぶり増)、トラックが11,873台で同24.5%増(9か月ぶり増)となっています。

この結果、令和6年上期(令和6年1月～6月)の新車販売台数は729,839台、前年同期比17.7%減となり、上期としては2年ぶりのマイナスとなりました。

上期販売台数の内訳は、乗用車が565,975台で前年同期比16.6%減(2年ぶり減)、貨物車が163,864台で同21.0%減(2年ぶり減)。貨物車の内訳は、ボンネットバンが18,503台で同21.0%減(2年ぶり減)、キャブオーバーバンが82,118台で同23.0%減(4年ぶり減)、トラックが63,243台で同18.1%減(3年連続減)となっています。